

## 労災保険経済概況

(単位:億円)

区 分	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (要求)
① 収 入	11,492	12,239	12,200	(12,194) 12,163	12,326
うち 保 険 料 収 納 額	7,923	8,668	8,632	8,719	8,892
うち 利 子 収 入	1,322	1,319	1,320	1,319	1,281
うち 前年度より受入(支払備金等)	1,978	1,969	2,019	(1,959) 1,930	1,936
② 支 出	11,926	11,967	11,864	(12,561) 12,556	12,590
うち 保 険 給 付 費 等	8,469	8,524	8,377	8,794	8,744
うち 社会復帰促進等事業費	648	570	591	(651) 647	695
うち 翌年度への繰越額(支払備金等)	1,969	2,019	1,981	1,981	1,981
決 算 上 の 収 支	△ 434	272	336	(△ 367) △ 393	△ 263
積 立 金 累 計 額	78,008	78,280	78,616	(78,249) 78,223	77,985

- 注) 1 労災保険の積立金は、既裁定の労災年金受給者への将来の年金給付費用に充てる原資となる確定的な債務(責任準備金)として積み立てているものである。  
2 収入には、事業主が負担する労災保険料のほか、積立金等の運用収入、支払備金等の前年度からの受入金等が含まれている。  
3 支出には、保険給付費等の当年度歳出額のほか、翌年度へ繰越される支払備金等が含まれている。  
4 平成28年度(予算)の上段括弧書きは補正後予算額(平成28年度第2次補正後予算額)である。  
5 平成28年度(予算)及び平成29年度(要求)の「②支出 うち翌年度への繰越額(支払備金等)」については、各年度の決算終了後に確定するため、現時点では平成27年度(決算)における「②支出 うち翌年度への繰越額(支払備金等)」が同額で推移すると仮定して当該金額を計上している。  
6 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数においては合計と一致していないものがある。